

平成
28年度

肺がん検診を 実施します

簡単な
検体郵送による
自己検診



当組合では、組合員及び加入の家族を対象に下記要領により郵送によるがん検診を実施いたします。定期的に検査を受けることが早期発見・早期治療の決め手となります。郵送によるがん検診は、自宅で簡単に受診できますので、ご自身の健康状態を把握するためにもぜひこの機会をご利用ください。

実施要領

対象者 組合員及びその家族 *家族の方は当組合の被保険者に限ります。

検診費用 無料(全額組合負担)

検診項目 肺がん検診：喀痰細胞診（3日分の喀痰を採取）

申込方法 ◆ FAXでお申し込みの方：別紙の「がん検診申込書」に必要事項を記載し、下記検査機関にお申し込みください。

◆ 郵送でお申し込みの方：別紙の「がん検診申込書」に必要事項を記載し、その裏面の封筒組立例を参考に組立て、ポストに投函してください。

申込締切日 平成29年2月末日(消印有効)

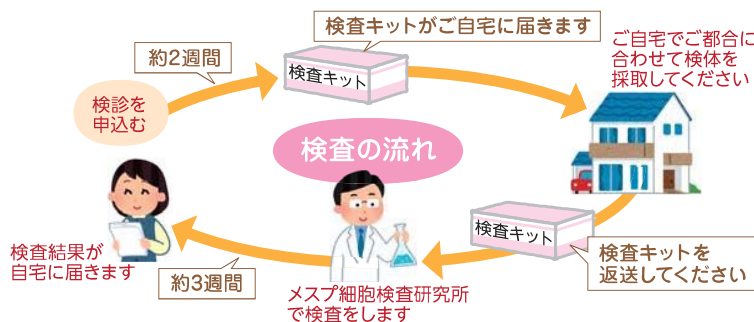
検体返送締切日 平成29年3月末日(消印有効) *必ず期日までに検体をご返送ください。

注意 検体返送締切日までに検体を返送されない場合は、自動的にキャンセルされたものとし、**器具代+手数料を徴収**いたします。

検査結果通知 検査結果は約3週間で個人宛に通知されます。

※異常があった場合には、専門医による精密検査が受けられるよう、適切な指導をいたします。また、病院紹介・紹介状作成をご希望の方は、下記検査機関にお問い合わせください。

検査の流れ 申し込みから検査結果が届くまで



*受診者の個人情報は検査器具・請求書送付・検査結果報告、それにとまう統計・分析などの範囲に限定して使用されます。

検査機関

メスブ細胞検査研究所

- 医療機関紹介
- 紹介状の作成
- 検査へのご質問
- 検査結果へのご質問
- その他

TEL 075-231-2230(平日9:00~17:00)

FAX 075-211-7400

メール mail@msp-kyoto.co.jp

お気軽に
お問い合わせ
ください



毎年受けましょう！ がん検診！



毎年検診を受けることで、重症化を防げます。
若いうちから、元気な時こそ、受診してください！

肺がん検診：がんの死亡原因では第1位！
肺がん検診はあなたを肺がんから守ります。



2012年肺がん罹患数
肺がんになった人の数は？



肺がんになった人の数は、従来男性で増加していましたが、近年は女性にも急増し、男女合わせると11万人を超えています。



2014年肺がん死亡数
肺がんで亡くなる人の数は？



部位別死亡数を最新の2014年のデータで見ると、男性では52,505人で1位、女性では20,891人で2位、男女合計では73,396人も亡くなっています。

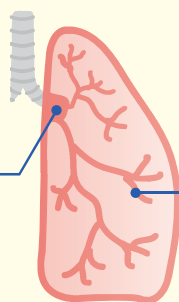
喀痰検査とは

痰の中に含まれる細胞を顕微鏡で確認し、異形変化がないかを調べる検査です。
肺がんだけでなく、アレルギー・ぜんそくなどの炎症性変化も発見できます。

肺門部・中心型肺がん

喫煙者に多い…咳、痰、血痰などの症状
※**喀痰検査**で発見！
肺が脊柱・心臓に隠れるためレントゲンでは見にくい

喫煙者はとくに注意



肺野末梢部がん（腺がん）

初期は無症状
※レントゲン検査で発見
(**喀痰検査**でも発見可能)

若い人、女性にも多い

肺野末梢部がん（扁平上皮がん）

喫煙だけでなく、拡散している煙等を吸うことでも発生
※**喀痰検査**で発見！

近年増加！

大気汚染物質により発病の危険性が高まる病気

呼吸器疾患

- ・ぜんそく
- ・COPD
- ・肺がん

その他の疾患

- ・脳卒中
- ・心筋梗塞
- など

(注)ぜんそく、COPD、心臓や脳の病気をもっている人などでは、大気汚染がその病気の増悪因子(病気が悪化する原因)にもなります。

COPD：動いた時の息切れや痰がからんだ感じ、咳などを認め、息を吐きにくくなる病気の総称です。
(COPDでは実際の年齢以上に肺が老化しています)

世界の死亡原因の第4位、日本で死因全体の第9位

注目!

国立がん研究センターはリスクを「確実」と評価!

他人のたばこの煙を吸い込む「**受動喫煙**」は、吸い込まない場合に比べ、肺がんになる危険性が**約1.3倍**となるとされる。

**肺がんは、レントゲン検査だけでは発見できません。
喀痰検査は、中心型早期肺がんの唯一のスクリーニング方法です。**